

内科

便秘とその新しい治療薬について

便秘の定義は「本来体外に排出すべき糞便を充分量かつ快適に排出できない状態」で、原因により器質性便秘と機能的便秘に分かれ、器質性便秘には狭窄性と非狭窄性があります。機能的便秘は排便回数減少型と排便困難型にわかれます。古くから治療に使われているセンノシドなどの刺激性下剤や、酸化マグネシウムなど

の塩類下剤では、連用による習慣性や高マグネシウム血症の発症リスクなどがあり、近年新しい薬が登場してきました。胆汁酸の再吸収の抑制と消化管運動を亢進させるエロビキシバッド、ポリエチレングリコールの浸透圧効果により腸管内の水分を増加させるマクロゴール、小腸のクロライドチャネルを活性化することで腸

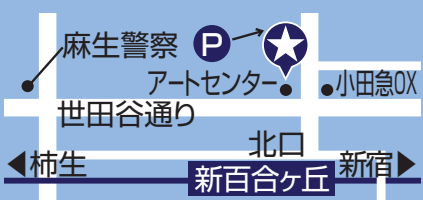
管内への腸液の分泌を増やすルビプロストン、腸粘膜のグアニル酸シクラーゼC受容体を活性化することで水分の分泌を促進するリナクロチドなど、治療の選択肢が増えました。



福本 学

■ 内科

新百合山手福本内科



☎044-955-8877
麻生区万福寺6-7-2
メディカルモリノビル2F
<http://www.fukumotonaika.jp/>